



大部っ子

大部小だより

令和5年9月

「やさしく かしこく たくましく」－自ら学び、ともに生きる児童の育成－

文責：学校長



【大部小公式HP】 <https://ono-edu.jp/obe/>

「みんなちがって みんないい」

吉岡 優

『私と小鳥と鈴と』

金子
みすゞ

私が両手をひろげても、

お空はちっとも飛べないが、

飛べる小鳥は私のように、

地面（じべた）を速くは走れない。

私がかからだをゆすつても、

きれいな音は出ないけど、

あの鳴る鈴は私のように、

たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、

みんなちがって、みんないい。



金子みすゞさんの代表作の一つ、『私と小鳥と鈴と』です。詩の中で、人にはできないこと、知らないことっていっぱいあるが、できること、知ることに出会えることが人の幅を広げ、それぞれの人としての深みを掘り下げ、結果一人一人が比べることのできない素晴らしい存在だと気づかせてくれているような気がします。特に、最後の「みんなちがって、みんないい」の部分はとてもいい言葉ではないでしょうか。

最近、SNS上で「自分は正しいんだ。」と思い込み、平気で他人を批判したり、責任を他に転嫁したりする人が増えてきていると聞きました。金子さんの詩のように「私は私 あなたはあなた」とそれぞれの立場をしっかりと認めている、その心に改めて感動しました。



学校では<2学期>が学級及び個人を一番成長させる時期と捉えています。子どもたち一人一人が互いにその存在を尊重し、認め合えるならば、学級も個人も大きく成長できるのではないのでしょうか。

プレイバック！7月の大部小



7月もたくさんの学びがありました。3日、4日に、5、6年生は**期末テスト**に挑戦しました。しっかり復習して、テストに取り組みました。そのほか、3年生は国語でも学ぶ「**大豆**」を実際に栽培しています。5年生は**ダイハツ**の方を招き、自動車づくりを学びました。6年生は東京から**フラメンコ**の先生からダンスを学びました。

どの学年も、座学では学べない体験をいっぱいしました。また、全学年プールにおいても着衣水泳を行い、命を守ることの大切さを体で学ぶことができました。

なお、英語学習でお世話になった**ミケーラ先生**が1学期末をもってお別れとなりました。とても楽しく、わかりやすい活動をしていただきました。みんな、お別れを惜しんでいました。

夏休み作品展

長い39日間の夏休みが終わりました。早々に夏の課題を終わらせ、余裕の子。あるいは、夏休み終盤になってラストスパートをかけた子。家族でたくさんの思い出をつくった子。友だちと思い切り遊んだ子。充実した夏休みだったことが29日（火）の始業式の時に子どもたちの目を見てわかりました。また、保護者の皆様におかれましては、長い夏休みの間お子様に対し、お声かけ等ご支援いただき、みんないい顔で2学期を迎えられたことに感謝いたします。



さて、8月30日から公開している「**夏休み作品展**」。どれも力作ぞろいで優劣がつけられません。自分が興味を持ったもの、徹底的に調べたもの、丁寧に仕上げたもの、どれもすばらしい作品ばかりです。ただいま、おうちの人にも見ていただく機会を持っています。期間は9月1日（金）まで。お時間を融通してご来校いただければ幸いです。今後「オンライン夏休み作品展」として<大部小だより（デジタル版）>にもアップ予定です！